

美術館にある子供の作品や、ひな祭りに関する作品を紹介！
作品を見ながら、ゆっくり巡っていきましょう。

スタート！



第1 展示室

「桃」 和田英作
(わだ えいさく)



ひな祭りは、「桃の節句」とも呼ばれています。3月はちょうど桃の花が咲く季節ですね。この絵もまるで本物のように美しい桃が描かれています。全部で何個あるでしょう？

この絵を描いた吉井淳二は、漁師や働く女性、市場の風景などをたくさん描いた画家です。浜辺にいる3人の子供たちも、親のお手伝いをしたのでしょうか？何をしているのか想像してみましょう。



「浜の子供たち」
吉井 淳二
(よしい じゅんじ)

第5 展示室



(にしきでばいかずこうろ)
「錦手梅花図香炉」 さつま焼 (白さつま)

ひな祭りは桃の花を飾りますが、梅の花も飾ることがあるんですよ。とくに、紅白の梅は縁起が良いとされています。さつま焼にも、梅が描かれた作品がたくさんあります！見つけてみましょう！

まるで「うふふ」と声が聞こえてきそうな、にっこり笑った少女の彫刻です。「笑う門には福来る」ということわざもあるように、ひな祭りも笑顔の1日になりますように♪



地下 ホール

「笑う少女」
北村 西望
(きたむら せいぼう)

第7 展示室

2月10日～6月30日開催
コレクションによる小企画展 『ティファニー・ガレ・ドーム 光あふれるガラスの世界』



「ウェディングセレモニー」
ルイス・コンフォート・ティファニー

ひな祭りは、日本の結婚式を表現したものです。この作品も、西洋の結婚式をステンドグラスで表現しています。とても固いガラスで出来たとは思えないほど、細かい所までていねいに作られているんですよ！

フィニッシュ！

美術館であなたのお気に入りの作品は見つかりましたか？
ひな祭りが楽しい1日になりますように♪

